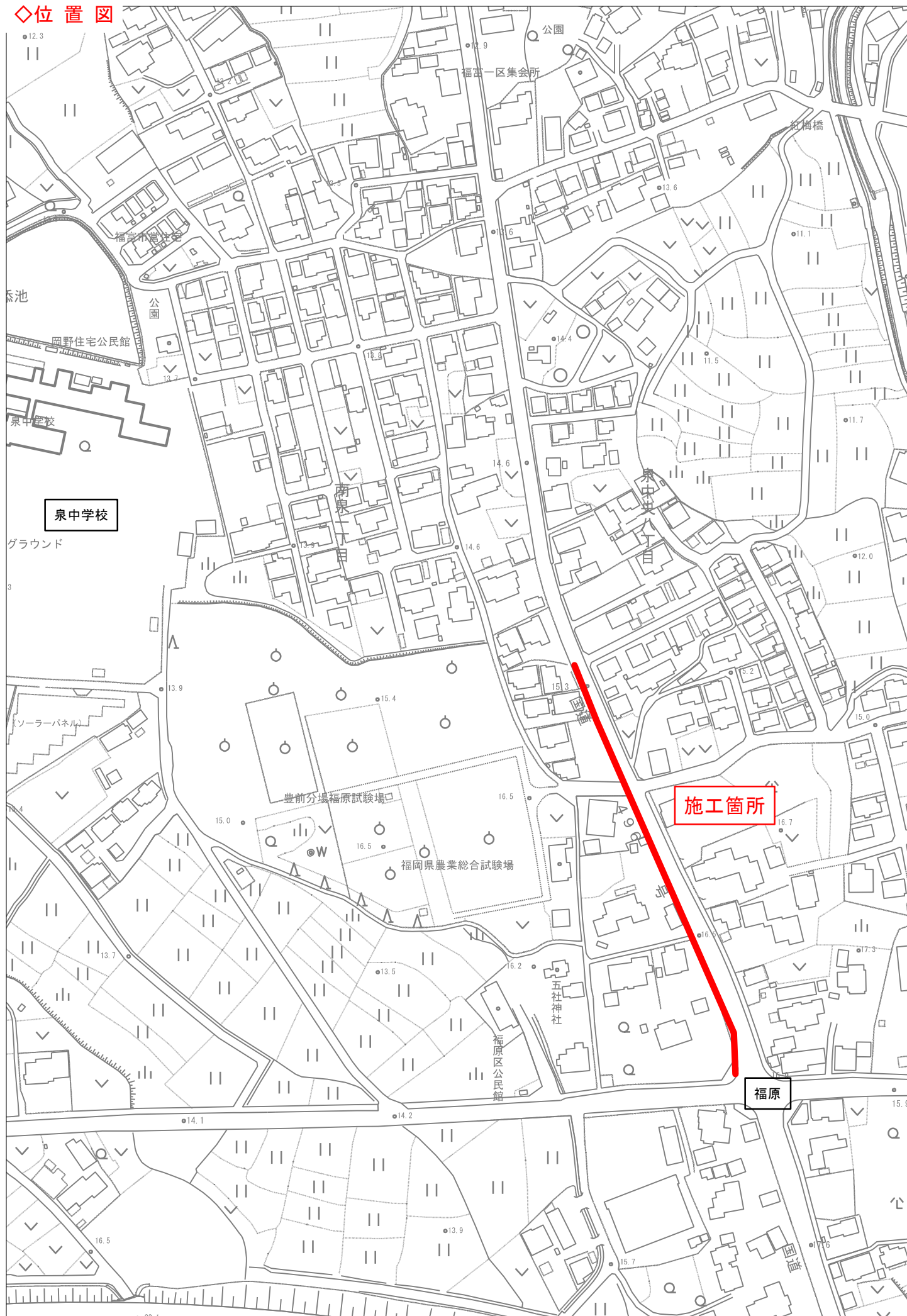
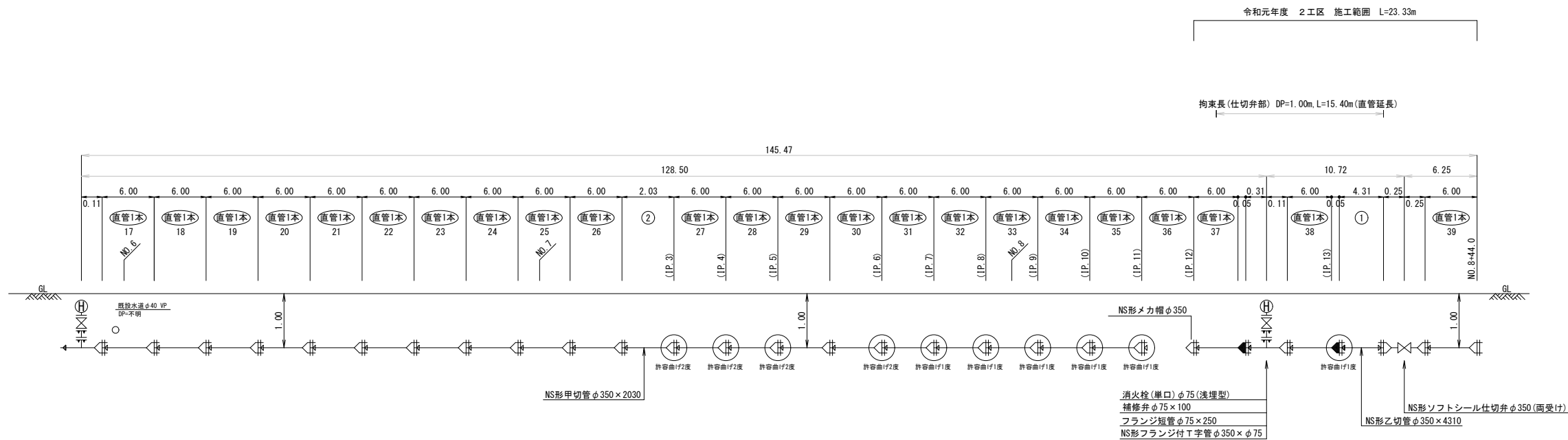


◇位置図



工事年度	令和元年度起工第 号 工区		
工 事 名	配水管布設替工事(南泉一丁目)2工区 工事		
工事個所	行橋市南泉一丁目 地内		
図 面 名	配管詳細図 (1)		
縮 尺	S=Free	図面番号	全 - 葉之内 4 号
事務所名	行橋市環境水道部上水道課		
認 ☐ 当初	実 ☐ 当初	☐ 査定	
可 ☐ 第 回変更	施 ☐ 第 回変更	☐	

配管詳細図(1) S=Free
[2 工 区]



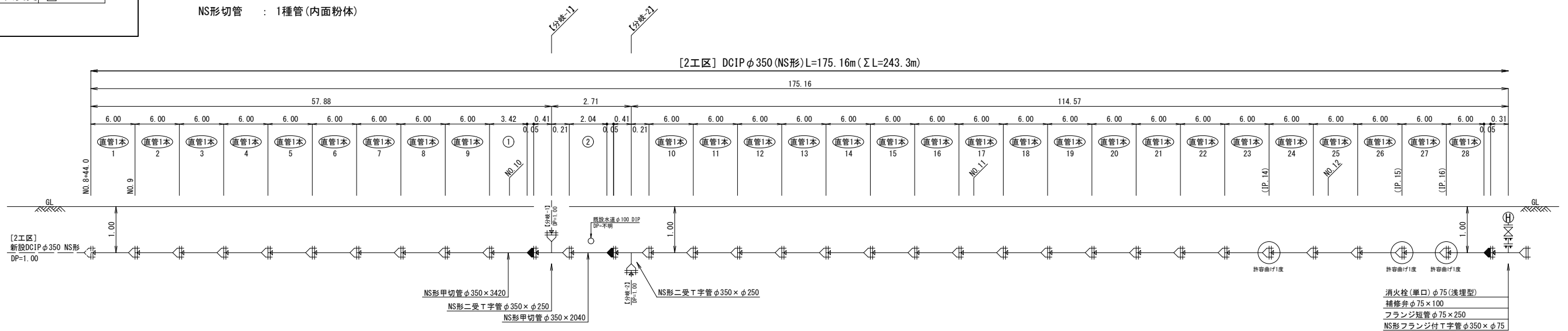
呼び径		[2工区] DC1P φ 350 (NS形) L=23.33m (Σ L=243.3m)
舗装種別		国道(車道) As L=23.33m (Σ L=243.3m)
昼夜区分		昼間工事 L=23.33m (Σ L=243.3m)
土質区分		普通土 L=23.33m (Σ L=243.3m)
床版土留区分		機械掘削(素掘) L=23.33m (Σ L=243.3m)
実測延長		

工事年度	令和元年度 令和元年 度起工事 災害定			第	号	工区
工事名	配水管布設替工事(南泉一丁目)2工区 工事					
工事箇所	行橋市 市 郡	町 村	南泉一丁目 地内			
図面名	配管詳細図(2)					
縮尺	S-Free	図面番号	全一葉之内4号			
事務所名	行橋市環境水道部上水道課					
認 可	☐ 当初 第 回変更	実 施	☐ 当初 第 回変更	☐	査定	

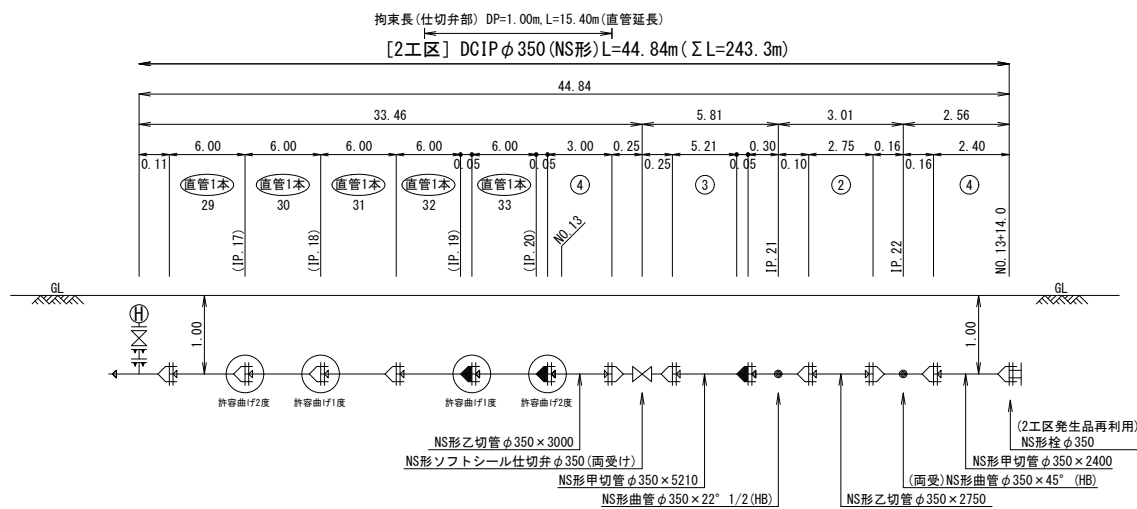
凡 例	
	NS形継手
	NS形継手(ライナー)
	K形継手(特殊押輪)
	HI-TS継手
①	NSφ350 切管番号
1	NSφ100 切管番号

※管種
NS形直管 : 3種管(内面粉体)
NS形切管 : 1種管(内面粉体)

配管詳細図(2) S=Free
[2 工 区]



呼び径	[2工区] DCIP φ350 (NS形) L=175.16m (Σ L=243.3m)
舗装種別	国道 (車道) As L=175.16m (Σ L=243.3m)
昼夜区分	昼間工事 L=175.16m (Σ L=243.3m)
土質区分	普通土 L=175.16m (Σ L=243.3m)
床堀土留区分	機械掘削 (素堀) L=175.16m (Σ L=243.3m)
実測延長	



NS形直管(3種管)	φ 350 × 6000	33 本
NS形ライナ	φ 350	6 ケ

口径	種類	土被り	拘束長
φ350	仕切弁	H=1.00	L=15.4m
φ350	Ｔ字管	H=1.00	L=1.0m
φ350	水平45°	H=1.00	L=5.0m
φ350	水平22°	H=1.00	L=1.4m
φ350	水平11°	H=1.00	L=1.0m

呼び径	[2工区] DC1Pφ350(NS形) L=44.84m (Σ L=243.3m)	
舗装種別	国道(車道) As L=43.84m (Σ L=243.3m)	県道(歩道) As L=1.00m (Σ L=243.3m)
昼夜区分	昼間工事 L=44.84m (Σ L=243.3m)	
土質区分	普通土 L=44.84m (Σ L=243.3m)	
床掘土留区分	機械掘削(素掘) L=44.84m (Σ L=243.3m)	
実測延長		

工事年度	令和元年度起工事 災害定					第	号	工区
工 事 名	配水管布設替工事(南泉一丁目)2工区 工事							
工事個所	行橋市	町	南泉一丁目 地内					
図 面 名	配管詳細図(3)							
縮 尺	S=Free	図面番号	全 - 葉之内 5 号					
事務所名	行橋市環境水道部上水道課							
認 ☐ 当初	実 ☐ 当初		☐ 査定					
可 ☐ 第 回変更	施 ☐ 第 回変更		☐					

凡 例	
	NS形継手
	NS形継手(ライナー)
	K形継手(特殊押輪)
	HI-TS継手
①	NSφ350 切管番号
1	NSφ100 切管番号

※管種

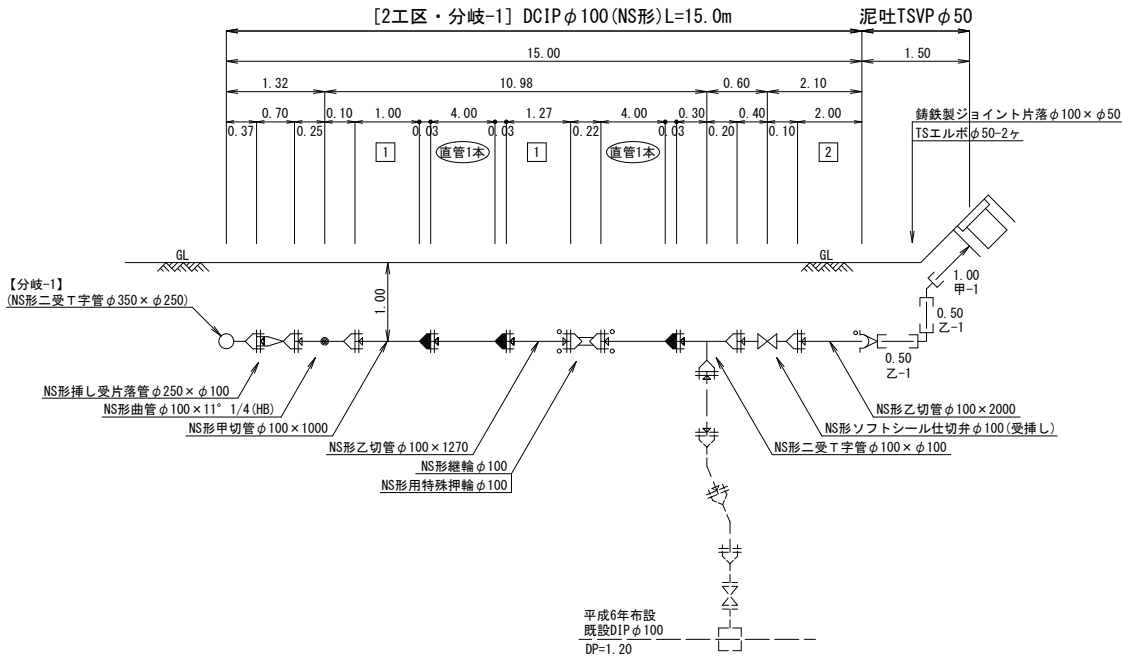
NS形直管 ： 3種管(内面粉体)

NS形切管 ： 1種管(内面粉体)

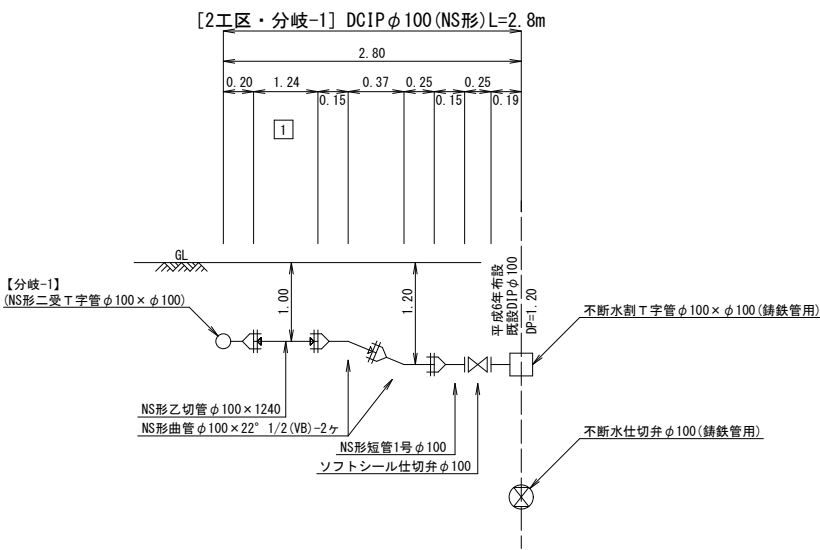
NS形直管(3種管)	φ100×4000	4本
NS形ライナ	φ100	4ヶ

配管詳細図(3) S=Free

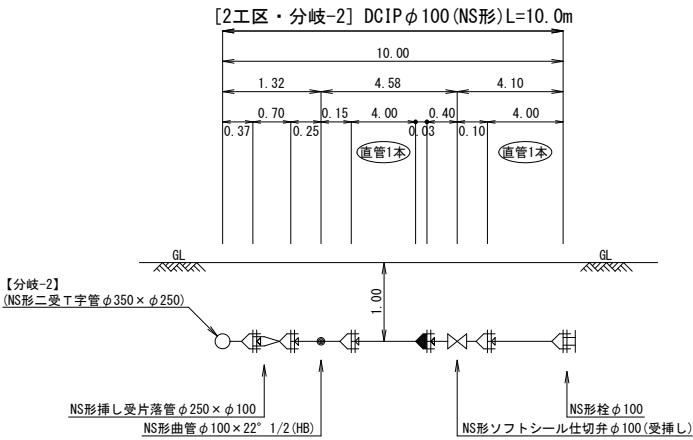
[2 工 区]



呼び径	[2工区・分岐-1] DCIPφ100(NS形)L=15.0m		泥吐φ50 L=1.5m
舗装種別	国道(車道)As L=5.80m	市道(車道)As L=9.20m	市道(車道)As L=1.50m
昼夜区分	昼間工事 L=15.00m		昼間工事 L=1.50m
土質区分	普通土 L=15.00m		普通土 L=1.50m
床堀土留区分	機械掘削(素堀) L=15.00m		機械掘削(素堀) L=1.50m
実測延長			



呼び径	[2工区・分岐-1] DCIPφ100(NS形)L=2.8m	
舗装種別	市道(車道)As L=2.80m	
昼夜区分	昼間工事 L=2.80m	
土質区分	普通土 L=2.80m	
床堀土留区分	機械掘削(素堀) L=0.80m	機械掘削(土留) L=2.00m
実測延長		



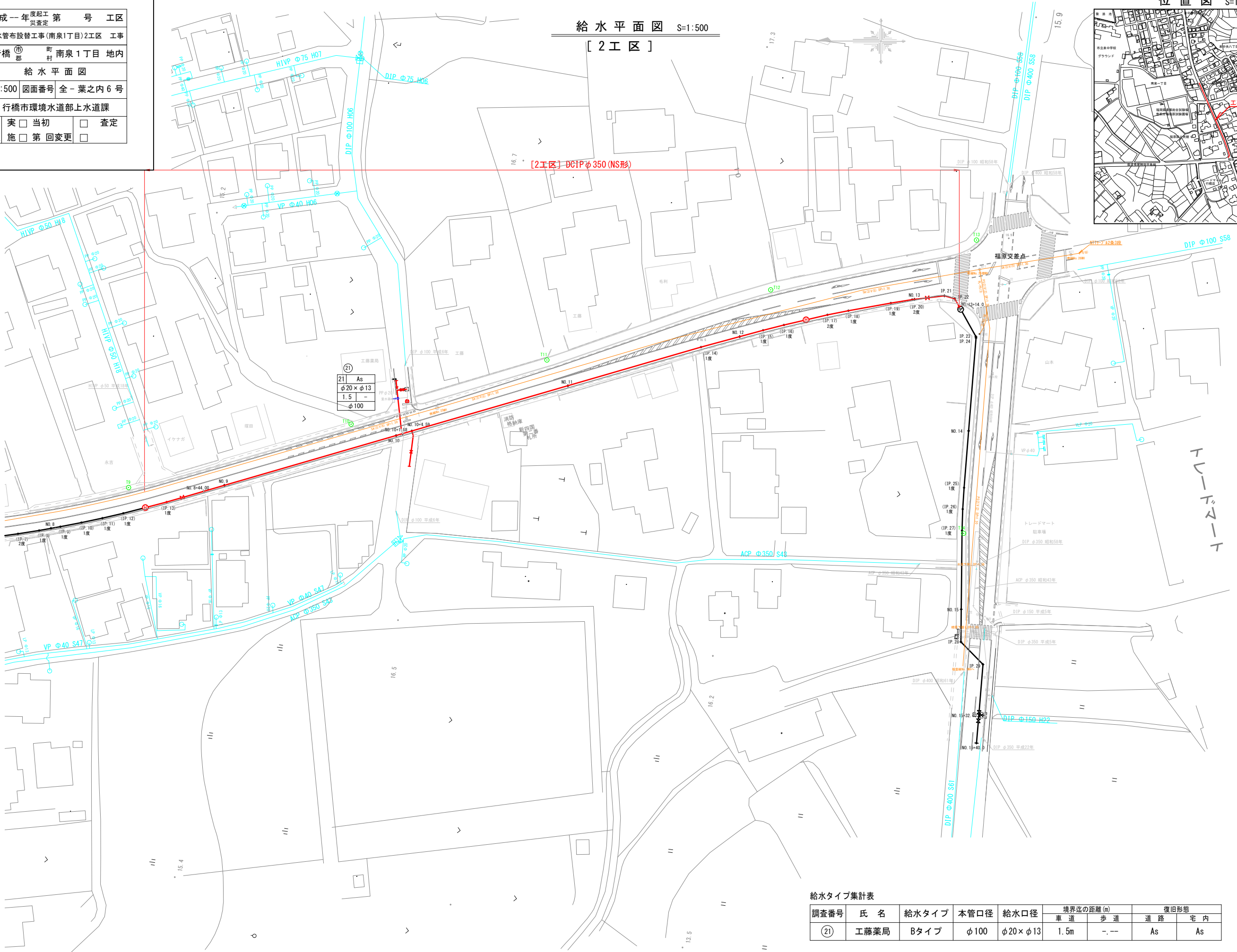
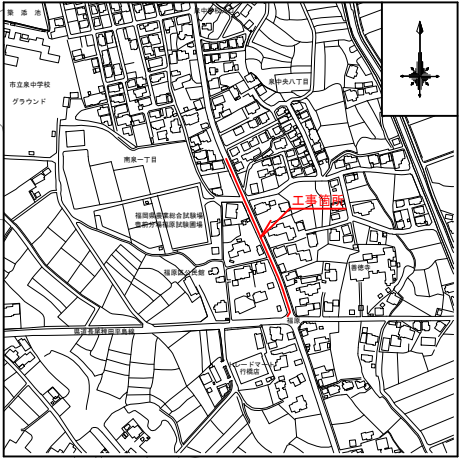
呼び径	[2工区・分岐-2] DCIPφ100(NS形)L=10.0m	
舗装種別	国道(車道)As L=1.80m	市道(車道)As L=8.20m
昼夜区分	昼間工事 L=10.0m	
土質区分	普通土 L=10.0m	
床堀土留区分	機械掘削(素堀) L=10.0m	
実測延長		

工事年度	平成一一年度起工 災害定	第 号 工区
工 事 名	配水管布設替工事(南泉1丁目)2工区 工事	
工事個所	行橋市 南泉1丁目 地内	
図 面 名	給 水 平 面 図	
縮 尺	S=1:500	図面番号 全 - 葉之内 6 号
事務所名	行橋市環境水道部上水道課	
認 ☐ 当初	実 ☐ 当初	☐ 査定
可 ☐ 第 回変更	施 ☐ 第 回変更	☐

給 水 平 面 図 S=1:500

[2 工 区]

位 置 図 S=1:5,000



給水タイプ集計表

調査番号	氏 名	給水タイプ	本管口径	給水口径	境界迄の距離(m)		復旧形態	
					車 道	歩 道	道 路	宅 内
(21)	工藤薬局	Bタイプ	φ100	φ20×φ13	1.5m	-	As	As

凡例

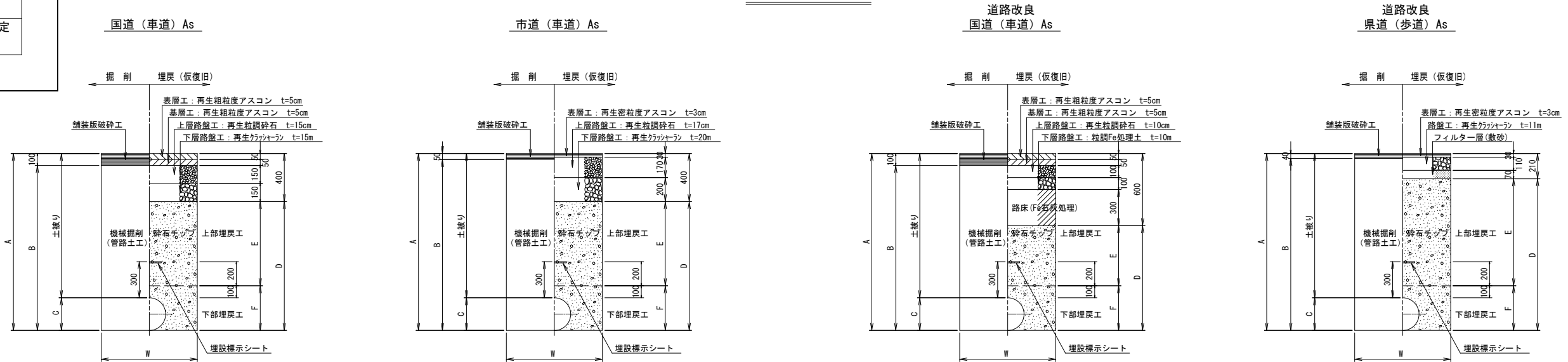
No 宅内舗装
給水口径
車道 歩道
本管口径

工事年度	令和元年度起工 災害定					第	号	工区
工 事 名	配水管布設替工事(南泉一丁目)2工区 工事							
工事個所	行橋 ^市 郡		南泉一丁目		地内			
図 面 名	掘削・埋戻標準図(1)							
縮 尺	S=Free		図面番号		全 - 葉之内 8 号			
事務所名	行橋市環境水道部上水道課							
認 ☐ 当初	実 ☐ 当初				☐ 査定			
可 ☐ 第 回変更	施 ☐ 第 回変更				☐			

掘削・埋戻標準図(1) S=Free

[2 工 区]

掘削断面図



国道(車道) As

名 称	口 径	φ350	φ100	摘 要
土被り	(m)	1.00	1.00	
A	(m)	1.37	1.12	
B	(m)	1.27	1.02	機械掘削(管路土工)
C	(m)	0.37	0.12	
D	(m)	0.97	0.72	
E	(m)	0.50	0.50	上部埋戻工(砕石チップ)
F	(m)	0.47	0.22	下部埋戻工(砕石チップ) 人力併用可
W	(m)	0.90	0.65	
矢板				

注) 管路土工とは、機械掘削に加え人力による他埋設物付近の掘削・会所堀等を含むものである。
注) 路盤一層当りの仕上り厚さは、下層路盤は20cm、上層路盤は15cmで転圧を必ず行うこと。

市道(車道) As

名 称	口 径	φ100	φ100不断水弁	φ50	給水(φ25以下)	摘 要
土被り	(m)	1.00	1.20	1.00	1.00	
A	(m)	1.12	1.52	1.06	1.04	
B	(m)	1.07	1.47	1.01	0.99	機械掘削(管路土工)
C	(m)	0.12	0.12	0.06	0.04	
D	(m)	0.72	1.12	0.66	0.64	
E	(m)	0.50	0.70	0.50	0.50	上部埋戻工(砕石チップ)
F	(m)	0.22	0.42	0.16	0.14	下部埋戻工(砕石チップ) 人力併用可
W	(m)	0.65	1.20	0.50	0.50	
矢板			H=2.00			

注) 管路土工とは、機械掘削に加え人力による他埋設物付近の掘削・会所堀等を含むものである。
注) 路盤一層当りの仕上り厚さは、下層路盤は20cm、上層路盤は15cmで転圧を必ず行うこと。

道路改良
国道(車道) As

名 称	口 径	φ350	摘 要
土被り	(m)	1.00	
A	(m)	1.37	
B	(m)	1.27	機械掘削(管路土工)
C	(m)	0.37	
D	(m)	0.77	
E	(m)	0.30	上部埋戻工(砕石チップ)
F	(m)	0.47	下部埋戻工(砕石チップ) 人力併用可
W	(m)	0.90	
矢板			

注) 管路土工とは、機械掘削に加え人力による他埋設物付近の掘削・会所堀等を含むものである。
注) 路盤一層当りの仕上り厚さは、下層路盤は20cm、上層路盤は15cmで転圧を必ず行うこと。

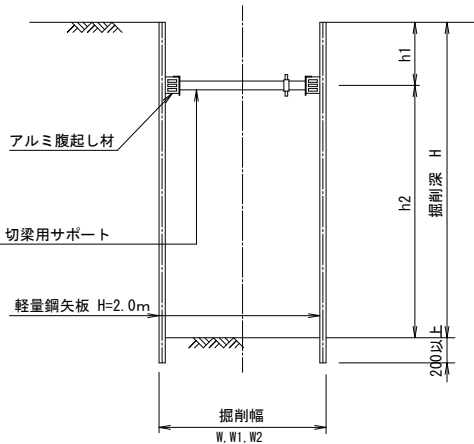
道路改良
県道(歩道) As

名 称	口 径	φ350	摘 要
土被り	(m)	1.00	
A	(m)	1.37	
B	(m)	1.33	機械掘削(管路土工)
C	(m)	0.37	
D	(m)	1.16	
E	(m)	0.69	上部埋戻工(砕石チップ)
F	(m)	0.47	下部埋戻工(砕石チップ) 人力併用可
W	(m)	0.90	
矢板			

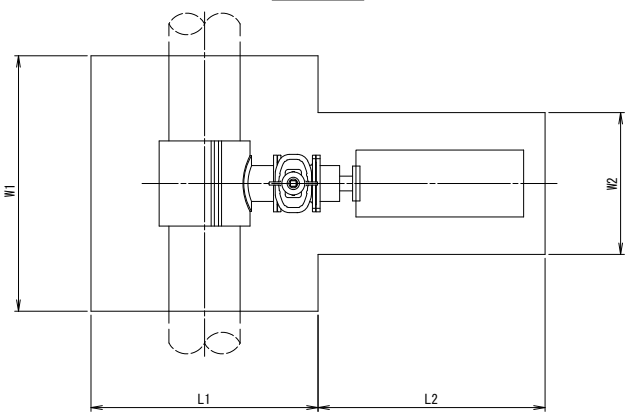
注) 管路土工とは、機械掘削に加え人力による他埋設物付近の掘削・会所堀等を含むものである。
注) 路盤一層当りの仕上り厚さは、下層路盤は20cm、上層路盤は15cmで転圧を必ず行うこと。

矢板長=2.0m

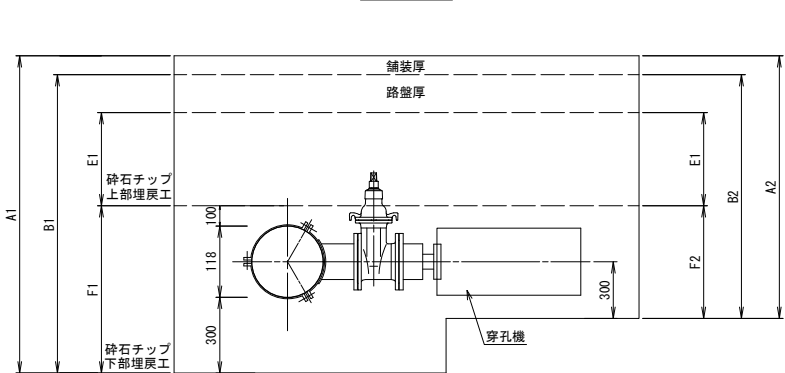
(1.50m<H≤1.80m)



平面図



側面図



市道(車道) As

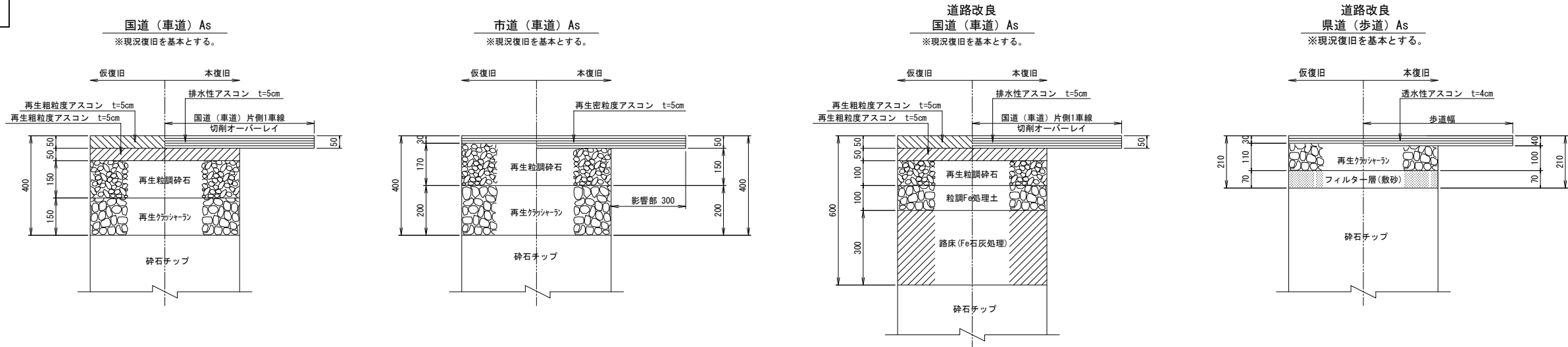
名 称	口 径	φ100×φ100	摘 要
土被り	(m)	1.20	
W1	(m)	1.00	
W2	(m)	0.60	機械掘削(管路土工)
L1	(m)	1.02	
L2	(m)	1.40	
A1	(m)	1.62	
A2	(m)	1.56	
B1	(m)	1.57	機械掘削(管路土工)
B2	(m)	1.51	機械掘削(管路土工)
E1	(m)	0.70	上部埋戻工(砕石チップ)
F1	(m)	0.52	下部埋戻工(砕石チップ) 人力併用可
F2	(m)	0.46	下部埋戻工(砕石チップ) 人力併用可

注) 管路土工とは、機械掘削に加え人力による他埋設物付近の掘削・会所堀等を含むものである。
注) 路盤一層当りの仕上り厚さは、下層路盤は20cm、上層路盤は15cmで転圧を必ず行うこと。

工事年度	令和元年度起工第 号 工区		
工 事 名	配水管布設替工事(南泉一丁目)2工区 工事		
工事個所	行橋市南泉一丁目 地内		
図 面 名	掘削・埋戻標準図(2)		
縮 尺	S=Free	図面番号	全 - 葉之内 9 号
事務所名	行橋市環境水道部上水道課		
認 可	☐ 当初 ☐ 第 回変更	実 施	☐ 当初 ☐ 第 回変更 ☐

掘削・埋戻標準図(2) S=Free
[2 工 区]

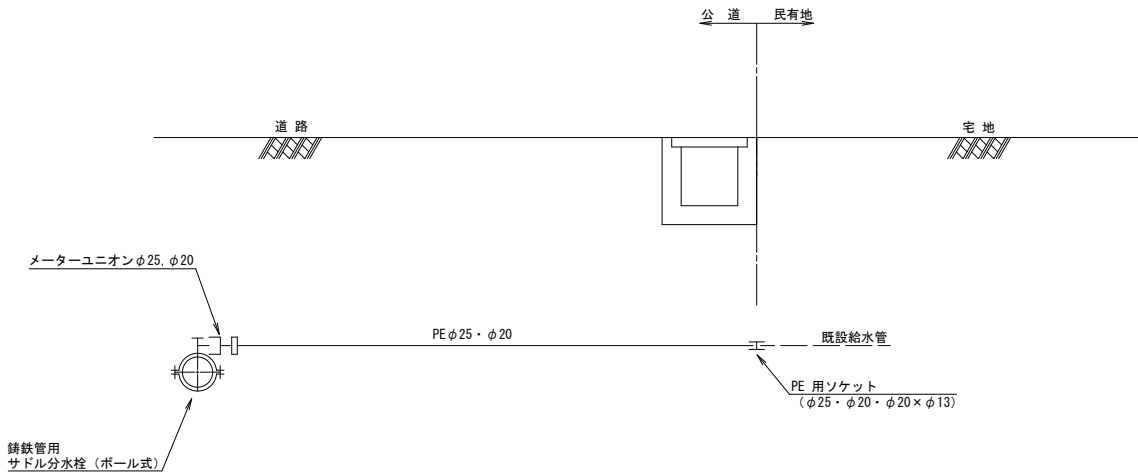
舗装復旧図



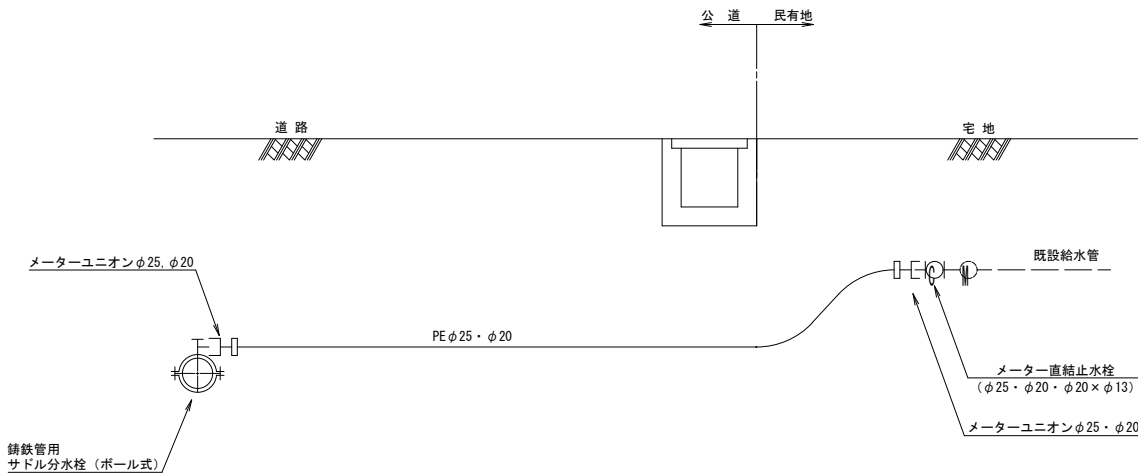
工事年度	令和元年度起工第 号 工区		
工 事 名	配水管布設替工事(南泉一丁目)2工区 工事		
工事個所	行橋市南泉一丁目 地内		
図 面 名	給 水 仕 様 図		
縮 尺	S=Free	図面番号	全 - 葉之内 - 号
事務所名	行橋市環境水道部上水道課		
認 ☐ 当初	実 ☐ 当初	☐ 査定	
可 ☐ 第 回変更	施 ☐ 第 回変更	☐	

給 水 仕 様 図 S=Free
[2 工 区]

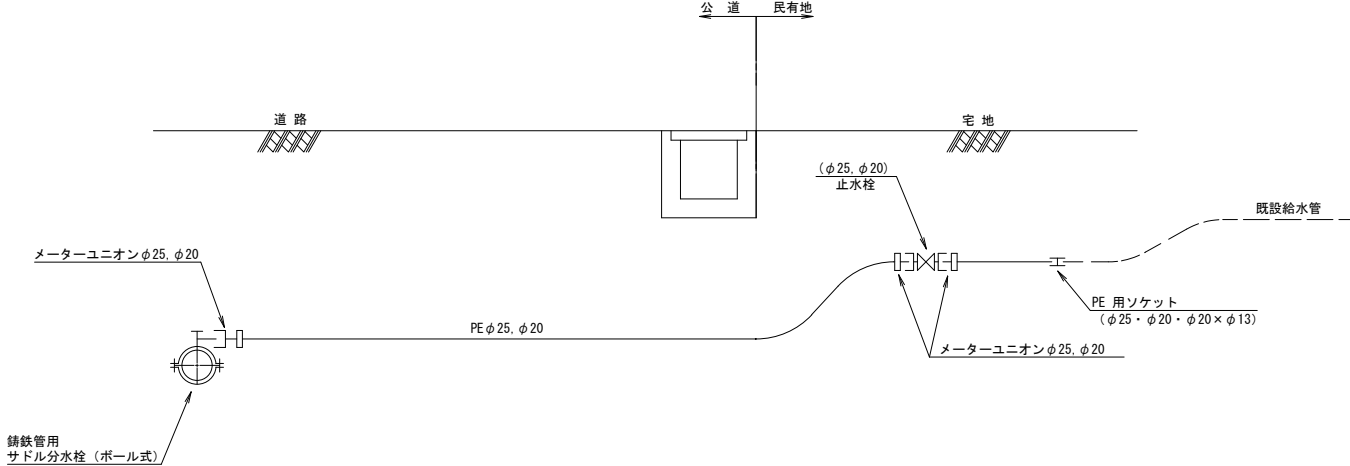
給水タイプA



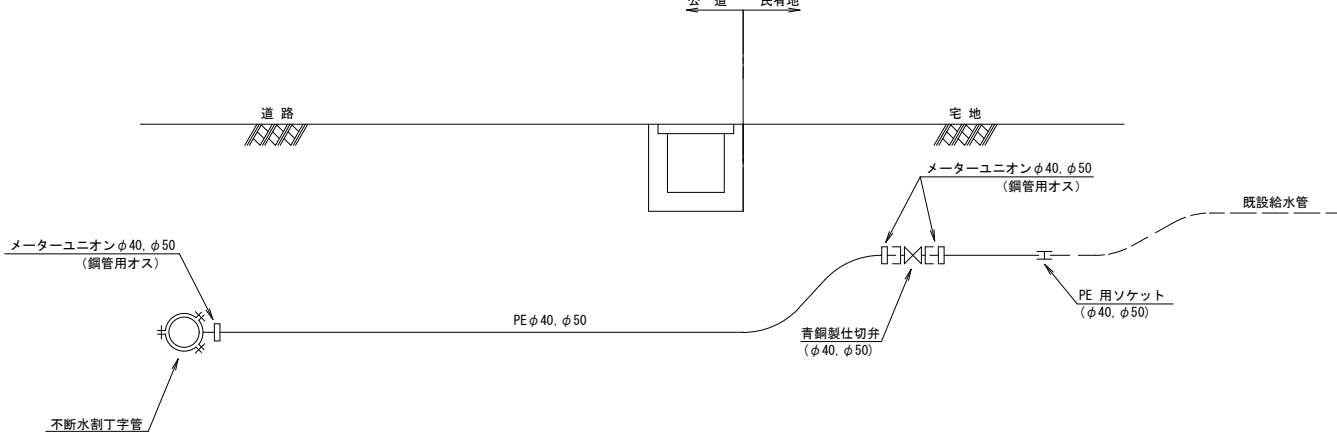
給水タイプB



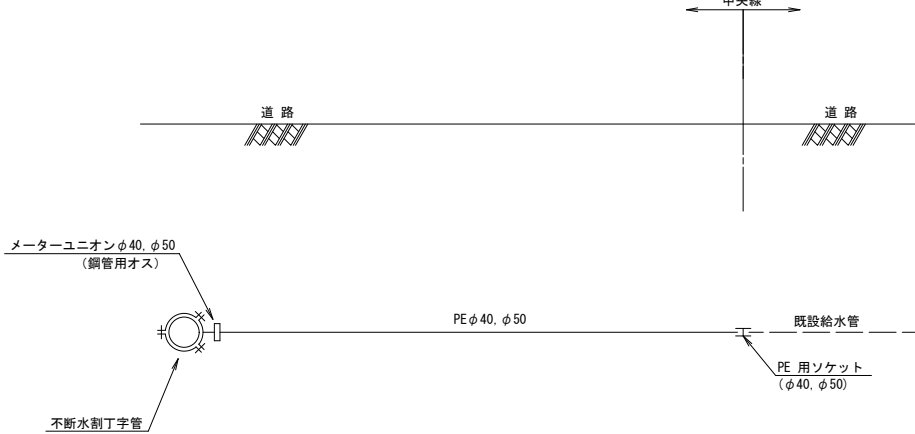
給水タイプC



給水タイプD
φ40～φ50



給水タイプE
φ40～φ50



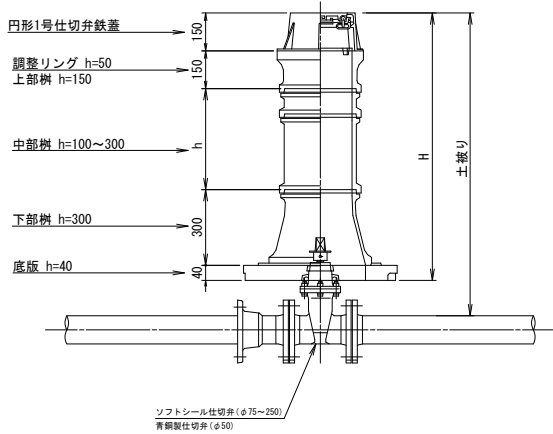
工事年度	令和元年度起工第 号 工区		
工 事 名	配水管布設替工事(南泉一丁目)2工区 工事		
工事個所	行橋市南泉一丁目 地内		
図 面 名	弁 室 詳 細 図		
縮 尺	S=1:15	図面番号	全 - 葉之内 - 号
事務所名	行橋市環境水道部上水道課		
認 ☐ 当初	実 ☐ 当初	☐ 査定	
可 ☐ 第 回変更	施 ☐ 第 回変更	☐	

弁 室 詳 細 図
[2 工 区]

仕切弁室詳細図 S=1:15

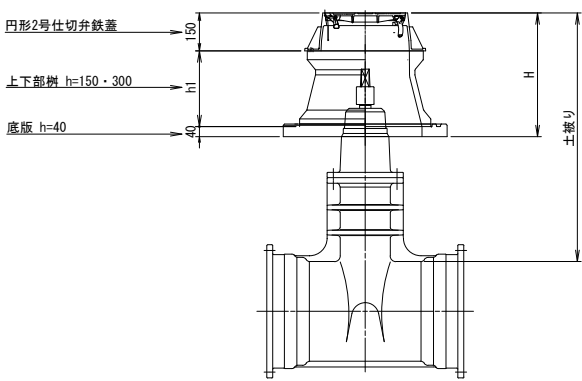
空気弁・消火栓室詳細図 S=1:15

呼び径φ50～φ250



	口径	φ50～φ100	φ50～φ100
	高さ(H)	土被りH=1000	土被りH=1200
鉄 蓋	150	1	1
上 部 樹	150	1	1
中 部 樹	100	1	-
	150	1	1
	200	-	-
	300	-	1
下 部 樹	300	1	1
底 版	40	1	1
弁 室 高	H	890	1090

呼び径φ350



	口径	φ350
	高さ(H)	土被りH=1000
鉄 蓋	150	1
上 下 部 樹	150	-
	300	1
底 版	40	1
弁 室 高	H	490

